

日本農学アカデミー 第 25 回総会報告

日本農学アカデミー事務局

第 25 回総会は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、書面議決にて開催された。会員数 204 名に対し、書面提出数（書面表決書）142 枚、未回答 62 枚であった。総会では、

- ①令和 3 年度事業報告（案）
- ②令和 3 年度収支決算（案）
- ③令和 4 年度事業計画（案）
- ④令和 4 年度収支予算（案）
- ⑤第 12 期役員（案）

について審議が行われ、すべての議案において、賛成 142 票・反対 0 票で承認された。

総会に先立ち、7 月 6 日にオンラインで開催された理事会には、理事 15 名、監事 2 名が出席した。

例年、総会後に開催されていたミニシンポジウムならびに懇親会は中止とした。

日本農学アカデミー第 25 回総会 次第

日本農学アカデミー第 25 回総会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面決議にて開催することとする。

1 議案

- 第 1 号議案 令和 3 年度事業報告（案）について
- 第 2 号議案 令和 3 年度収支決算（案）について
- 第 3 号議案 令和 4 年度事業計画（案）について
- 第 4 号議案 令和 4 年度収支予算（案）について
- 第 5 号議案 第 12 期役員承認について
- その他

4 配布資料

日本農学アカデミー第 25 回総会 総会資料

- 資料 1 令和 3 年度入退会者一覧
- 資料 2 令和 3 年度収支決算（案）
- 資料 3 監査報告書
- 資料 4 秋のシンポジウムについて（案）
- 資料 5 令和 4 年度収支予算（案）
- 資料 6 第 12 期日本農学アカデミー役員（案）

日本農学アカデミー第 25 回総会 総会資料

【第 1 号議案】令和 3 年度事業報告（案）について

1 会員数の状況

正会員 182 名、特別顧問 14 名、賛助会員 3 団体

(令和 3 年度末現在、年度末退会者数は反映済)

令和 3 年度の入会者 8 名、退会者 19 名 (資料 1 参照)

2 ミニシンポジウムの開催

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、開催に至らなかった。

3 シンポジウムの開催

(1) 「有機農業のいまとこれから —持続可能な社会への貢献—」

日時：令和 3 年 11 月 6 日 (土) 13:00~17:00

場所：オンライン開催 (zoom ウェビナー)

主催：日本農学アカデミー、公益財団法人農学会

後援：農研機構、東京大学大学院農学生命科学研究科、ワールドウォッチ・ジャパン

内容：生物多様性と共生する有機農業：世界の動向と生産の現場から 香坂 玲
有機農業の生産者と消費者をつなぐ：サプライチェーンの構築について

大山利男

有機農業に関する研究、技術開発の現状

三浦重典

オーガニックマーケットを活用して有機農業を広げる

よしのたかこ

みどりの食料システム戦略と有機農業の推進

小宮英稔

総合討論

大杉 立・生源寺眞一

(2) 「持続可能な食料システムに向けて」

日時：令和 4 年 3 月 12 日 (土) 13:00~17:30

場所：オンライン開催 (zoom ウェビナー)

主催：公益財団法人農学会、日本農学アカデミー

後援：東京大学大学院農学生命科学研究科、毎日新聞社、日本農業新聞社、
ワールドウォッチ・ジャパン

内容：近代農業の光と影

根本圭介

地球環境と 100 億人の健康のための食料システム

飯山みゆき

国際機関が予測する 10 年後の食料

小泉達治

持続可能な食料システムのために食品ロス削減が果たす役割とは

井出留美

国連食料システムサミット before after

新井ゆたか・舟木康郎

総合討論

中嶋康博

4 学術シンポジウム等の後援及び助成

経費負担を伴うシンポジウム等の後援及び助成の申請はなかった。経費負担を伴わないシンポジウム等の後援及び助成は以下のとおり。

- (1) 生命科学分野におけるジェンダー・ダイバーシティ
第1回「大学における女性リーダーから見た課題と展望」(後援)
日時：令和3年10月28日(木)
- (2) 「フードシステムと養殖の未来」(共催)
日時：令和3年11月12日(金)
- (3) 生命科学分野におけるジェンダー・ダイバーシティ
第2回「大学・企業・学協会におけるダイバーシティ推進に向けた取り組み」(後援)
日時：令和3年12月19日(日)
- (4) 「新型コロナウイルス感染拡大がもたらした日本の食と農をめぐる経済・社会問題」
日時：令和4年3月21日(月) (後援)
- (5) 生命科学分野におけるジェンダー・ダイバーシティ
第3回「Disability Inclusive Academia：障害のある人々の視点は科学をどう変えるか」
日時：令和4年3月23日(水) (後援)

5 総会、理事会等の開催

- (1) 幹事会の開催
日時：令和3年4月26日(月) 10:00~12:00
場所：オンライン開催
- (2) 理事会の開催
日時：令和3年7月1日(木) 10:00~12:00
場所：オンライン開催
- (3) 第24回総会の開催
書面審議にて開催した。

6 会報の発行

令和3年度は、第35号(6月)及び第36号(12月)を作成し、ホームページに掲載した。

7 アカデミー便りの発行

会員間の情報共有のため、毎月発行し、会員に郵送した。

8 ホームページの充実

諸情報を逐次更新するとともに、会報やシンポジウムの案内を掲載するなど、内容の充実を図った。

【第2号議案】令和3年度収支決算（案）について
(資料2及び資料3参照)

【第3号議案】令和4年度事業計画（案）について

- 1 会員の拡大
- 2 会報の作成
- 3 シンポジウム（11月）の開催（資料4参照）
- 4 学術シンポジウムの助成及び後援
- 5 総会、理事会等の開催
- 6 ホームページの充実
- 7 農学諸問題に関する調査等を実施し、日本農学アカデミー声明、提言及び会長談話等の発出
- 8 その他、本会の目的を達成するために必要な事業

【第4号議案】令和4年度収支予算（案）について
(資料5参照)

【第5号議案】第12期役員承認について
理事の交代。
(資料6参照)

令和 3 年度入退会者一覽

入会者 (8 名)

- 1 江口 文陽
- 2 後藤 貴文
- 3 小山 修
- 4 中静(浅野) 透
- 5 中山 一郎
- 6 眞岡 哲夫
- 7 八木 信行
- 8 山下 恭広

(敬称略)

退会者 (19 名)

- 1 荒井 基夫
- 2 有路 昌彦
- 3 有賀 祐勝
- 4 熊澤 喜久雄
- 5 佐々木 長市
- 6 佐藤 晃一
- 7 塩谷 繁
- 8 高野 克己
- 9 高橋 壮
- 10 中村 保典
- 11 林 清
- 12 松野 隆一
- 13 宮下 和夫
- 14 宮本 幸一
- 15 村上 ゆり子
- 16 飯塚 堯介
- 17 山内 章
- 18 山田 康之 (逝去)
- 19 山本 廣基

(敬称略)

日本農学アカデミー 令和3年度収支決算書（案）

（2021年4月1日～2022年3月31日）

（単位：円）

科 目	予 算 額 ①	決 算 額 ②	差 額 ①－②	備 考
I 収入の部				
会費収入	2,080,000	2,145,000	△ 65,000	正会員分 1,995,000円 賛助会員分 150,000円
預金利息	60	38	22	
当期収入合計 (A)	2,080,060	2,145,038	△ 64,978	
II 支出の部				
会議費	150,000	124,074	25,926	シンポジウム・監査経費
諸謝金	120,000	136,370	△ 16,370	シンポジウム講師謝金
通信運搬費	135,100	89,860	45,240	総会・シンポジウム案内等、 切手・葉書
消耗品費	10,000	7,203	2,797	事務用消耗品
印刷製本費	60,000	61,851	△ 1,851	シンポジウムチラシ、封筒
図書購入費	990,720	940,320	50,400	月刊『学術の動向』購入費 (@480*1959)
学会等助成費	150,000	0	150,000	シンポジウム助成金 (@30,000*0件)
ホームページ管理費	123,124	123,124	0	ホームページ更新料等
日本農学進歩賞共催負担金	100,000	100,000	0	
業務委託費	200,000	200,000	0	事務管理費
振込手数料	32,000	28,443	3,557	会費振込手数料(加入者負担)等
予備費	100,000	0	100,000	
当期支出合計 (B)	2,170,944	1,811,245	359,699	
当期収支差額(C)=(A)-(B)	△ 90,884	333,793	△ 424,677	
前期繰越額 (D)	2,700,756	2,700,756	0	
次期繰越額 (E)=(C)+(D)	2,609,872	3,034,549	△ 424,677	

預貯金残高

内 訳	金 額
現金	20,000
郵便貯金	47,542
三井住友銀行普通預金	1,967,007
三井住友銀行定期預金	1,000,000
計	3,034,549

監査報告

日本農学アカデミー令和3年度収支決算について監査した結果、適正に会計処理されていることを認めます。

令和4年6月24日

日本農学アカデミー

監事 小泉 健 

監事 梅本 雅 

秋のシンポジウム（案）について

テーマ：日本の食料（問題）を考える

「タイトル未定」

日時：2022年11月5日（土）13：00～17：00（予定）

場所：WEB開催と東京大学農学部弥生講堂のハイブリッド型（予定）

主催：日本農学アカデミー、公益財団法人農学会

後援：東京大学大学院農学生命科学研究科、ワールドウォッチ・ジャパン（予定）

日本は、カロリーベースで食料供給の6割を海外に依存し、世界の農産物輸入に占めるシェア（金額ベース）は、とうもろこしが世界第1位（14.7%）、肉類は第2位（8.4%）、小麦は第4位（5.9%）、大豆は第3位（3.4%）と、世界でも屈指の農産物純輸入国となっている。

世界の人口は増加が続き、食生活の変化による飼料用穀物消費量の増加と相俟って、今後の食料需給は中長期的にはひっ迫することが予想されている。また、最近では、気候変動に伴う異常気象の増加、COVID-19の世界的感染拡大、国際情勢の劇的変化、為替相場の変動等が生産・流通・消費に大きな影響を与え、食料需給と価格は極めて不安定な状況にある。

一方、国内農業は、耕地の荒廃や宅地への転用などにより耕地面積は減少し、農業従事者の高齢化・減少も進んでいる。農林水産省では、食料自給率・食料自給力向上に向けた取り組みを進め、主要品目の生産努力目標を設定しているが、小麦、大豆、イモ類など多くの品目で実績値が目標値を下回っている。

こうした中で我が国の安定的な食料供給を確保するためには、国内の農業生産の増大とともに、様々な要因によるリスクの影響を緩和した安定的な輸入の確保を図っていく必要がある。本シンポジウムでは、我が国における食料需給の現状を踏まえ、強靱な食料供給システム実現に向けた課題と展望について考えていく。

（構成案）

1) 我が国における食料安全保障（基調講演）

末松広行（東京農業大学特命教授、元農林水産事務次官）

2) 国際的食料価格変動の要因と今後の展望

三石誠司（宮城大学食産業学群フードマネジメント学類教授）

3) フードサプライチェーンの動向

藤島廣二（東京聖栄大学食品学科客員教授（常勤）、東京農業大学名誉教授）

4) 自給飼料生産・流通の現状と課題

増田 靖（らくのうマザーズ生産本部営農指導課）

5) 食料自給率（力）向上のための技術的対応

（自給率向上・生産努力目標に対応した技術開発）

松田敦郎（農研機構理事）

6) 全体討議

日本農学アカデミー 令和4年度収支予算(案)

(2022年4月1日～2023年3月31日)

(単位：円)

科 目	予 算 額	備 考
I 収 入 の 部		
会費収入	2,040,000	正会員、賛助会員
預金利息	40	2021年度実績(38円)
収入合計(A)	2,040,040	
II 支 出 の 部		
会議費	150,000	幹事会、理事会、総会、シンポジウム開催費
諸謝金	150,000	シンポジウム講師謝金等
通信運搬費	135,100	総会等案内、シンポジウム案内等、切手
消耗品費	10,000	事務用消耗品
印刷製本費	60,000	ポスター、封筒等印刷費
図書購入費	979,200	『学術の動向』購入費(@480*2,040冊(170冊/月))
学会等助成費	150,000	シンポジウム等の助成金(@30,000×5件)
ホームページ管理費	123,124	ホームページ更新料等((公財)日本学術協力財団)
日本農学進歩賞協賛金	100,000	(公財)農学会
業務委託費	200,000	事務管理費((公財)日本学術協力財団)
振込手数料	32,000	会費振込手数料(加入者負担)等
予備費	100,000	
支出合計(B)	2,189,424	
収支差額 (C)=(A)-(B)	(149,384)	
前年度からの繰越金(D)	3,034,549	
次年度繰越(E)=(C)+(D)	2,885,165	

第 12 期日本農学アカデミー役員（案）

（令和 4 年 7 月〇日）

会長・理事	大政 謙次	日本学術会議連携会員、高崎健康福祉大学農学部長 → 生源寺眞一 福島大学農学群食農学類長
副会長・理事	大杉 立	日本学術会議連携会員、八ヶ岳中央農業実践大学校校長
副会長・理事	佐々木昭博	東京農業大学参与・客員教授
副会長・理事	鳥居 邦夫	（株）鳥居食情報調節研究所所長
副会長・理事	長澤 寛道	元東京大学農学生命科学研究科長、前（公財）農学会会長 → 中西友子 前星薬科大学学長
理事	石塚真由美	日本学術会議第二部会員、北海道大学大学院教授
理事	小山 修	（国研）国際農林水産業研究センター理事長
理事	勝田 真澄	（国研）農研機構理事
理事	門脇 光一	（国研）農研機構理事
理事	倉田 のり	日本学術会議連携会員、国立遺伝学研究所名誉教授
理事	嶋田 透	日本学術会議連携会員、学習院大学教授
理事	進士五十八	福井県立大学長 → 江口文陽 東京農業大学学長
理事	中静（浅野）透	（国研）森林研究・整備機構理事長
理事	中島 隆	（国研）農研機構理事 → 井手 任 （国研）農研機構理事
理事	中嶋 康博	日本学術会議第二部会員、東京大学大学院教授
理事	中谷 誠	（国研）農研機構副理事長
理事	松田 幹	福島大学農学群食農学類教授
理事	和田 時夫	日本学術会議連携会員、 （一社）漁業情報サービスセンター会長
理事	渡部 終五	日本学術会議連携会員、北里大学特任教授
監事	梅本 雅	前（国研）農研機構理事
監事	小泉 健	（公社）農業農村工学会専務理事

（五十音順）